金子 佐さん 渡辺 修さん 教育功労者として 全国表彰を受ける

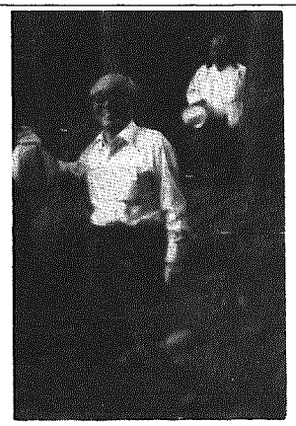
（右金子さん、左渡辺さん）

昭和二十三年に公布された教育委員法は、本村に於いても昭和二十七年にその制度の発足を見、以後戦後における新たな教育体制の確立にその成果をあげてきたところであるが、昭和三十一年、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が公布され、これまでの教育委員会法は廃止されることになり、新たに新法に基く市町村教育委員会が昭和三十二年創立発足したわけで、今年をもって創立二十周年となりました。この記念する年に当り、全国市町村教育委員会連合会から、永年教育委員として教育行政にたずさわり、教育振興に大きく貢献された金子佐さん、渡辺　修さんの両氏の功績が高く評価され、去る十一月十七日、国立教育会館で栄えある全国表彰を受けられました。

茲にその栄誉を心から讃えたいと思います。

天神山城址保存のためにと

大国岩太郎さんの美挙



▲天神山城址を訪れ祖先を偲ぶ大国さん

岩室温泉背後に聳える標高二五〇米の天神山頂上を本丸に同山系の尾根伝いの天険を利用して構築された中世末期の堅固な山城あとがある。この天神山城築城当時の城主のご子孫に当る大国岩太郎氏（東京都三鷹市在住）はご先祖のゆかりの地である天神山城址保存に役立てて欲しいと村に対して百万円也ご寄贈の申出があり、関係者を感激させています。

村では折角のご芳志におたえするため早速教育委員会を中心にしてその活用計画について検討をはじめる一帯のしづめとして治安維持、生活文化向上のために役割を果して来たが、中世上杉謙信公の没後におこった御館の乱（一五七八、天正六年、同家相続争い）の渦中に巻きこまれ、攻防の拠点となったこともある。慶長三年（一五九八）上杉家会津移封に伴い主家と共に米沢に移住し、廃城され現在に至っている。

大正末期当主岩太郎氏は『日本内科医学会』事務局長に就任されるに及び米沢より東京に居を移され現在に至っている。

大国岩太郎氏は去る十一月十七日、国立教育会館で栄えある全国表彰を受けられました。

ちなみに天神山城は仁平三年（一一五三）小国頼行と北陸街道を前にひかえ、石瀬、岩室、樋曾等山麓一帯の要として治安維持、生活文化向上のために役割を果して来たが、中世上杉謙信公の没後におこった御館の乱（一五七八、天正六年、同家相続争い）の渦中に巻きこまれ、攻防の拠点となったこともある。慶長三年（一五九八）上杉家会津移封に伴い主家と共に米沢に移住し、廃城され現在に至っている。

大正末期当主岩太郎氏は『日本内科医学会』事務局長に就任されるに及び米沢より東京に居を移され現在に至っている。

大国岩太郎さんはこの由緒ある小国家直系の末裔に当ります。天神山城は矢川と北陸街道を前にひかえ、石瀬、岩室、樋曾等山麓一帯の要として治安維持、生活文化向上のために役割を果して来たが、中世上杉謙信公の没後におこった御館の乱（一五七八、天正六年、同家相続争い）の渦中に巻きこまれ、攻防の拠点となったこともある。慶長三年（一五九八）上杉家会津移封に伴い主家と共に米沢に移住し、廃城され現在に至っている。

大正末期当主岩太郎氏は『日本内科医学会』事務局長に就任されるに及び米沢より東京に居を移され現在に至っている。

大国岩太郎さんはこの由緒ある小国家直系の末裔に当ります。

ちなみに天神山城は仁平三年（一一五三）小国頼行